

令和2年度門真市民文化会館及び門真市立市民交流会館 指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和元年度

施設のサービス水準の視点 コメント

市民文化会館の休館中、指定事業や自主事業それぞれを市内公共施設を利用して、規模や内容を工夫して開催し、例年と変わらず多くの市民が文化芸術に触れる機会を創出することができたことを評価する。また、これらの事業や大学連携事業の実施により利用者による市民交流会館での利用の機会が増加し、市民交流会館の認知度が高まったことを評価する。

収支状況 コメント

指定事業や自主事業等例年どおりの内容で実施したにも関わらず、支出額が当初予算よりかなり抑えられ、利用者へのサービス向上等が反映された結果によるものとする。今後も、充実した市民サービスの提供等に努めていただきたい。

市による総合評価 コメント

利用者アンケートによると、市民交流会館の総合的な満足度が前年度と同様に95.7%と維持し、良好な結果である。この結果より、利用者のきめ細かな対応ができているものと思われる。  
また、市民交流会館への職員配置数を増員したことにより、利用者との密なコミュニケーションや要望をより多く拾い上げることができたことが利用者の満足度の維持につながったと思われる。  
市民交流会館をセンターに、大学連携事業や宿題カフェ事業を中心に、地域に住む方や子どもたちが交流できる場を提供し、市民交流会館の認知度を高めたことを評価した。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった